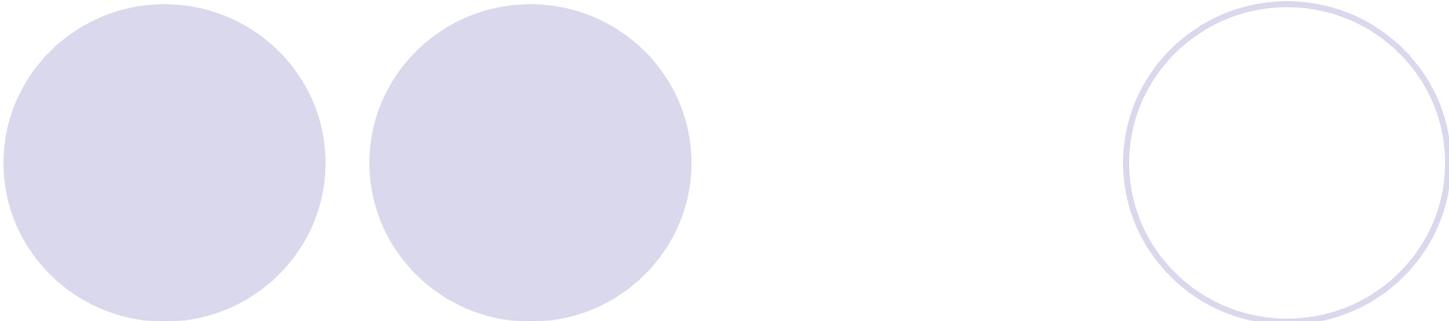




中学生が「経済における公正」
について考える授業



中間市立中間東中学校

岩野 清美

1 経済における「公正」とは？

● 所得配分における「公正」とは？

社会全体に着目

個に着目

● 全体の幸福を大きく(功利主義)

● 所得の格差をより小さく

● 格差原理

● 公共的領域の再構築

● ケイパビリティへの着目

自由・権利への着目

1 経済における「公正」とは？

- 資源の果実を請求する権利の発生根拠は？
- 等しい貢献を行った人に、等しい請求権
→ 貧困は、貧困者自身の問題
- 等しい必要をもつ人に、等しい請求権
→ 貧困は、機会が限られていることによる問題

1 経済における「公正」とは？

- 「公正」な手続きとは？

- 帰結道徳律 > 手続き的正義

- 手続き的正義 > 帰結道徳律

2 中学生が「経済における公正」について考える授業の基本的アプローチ

● 学習活動

さまざまな貧困撲滅プログラムについて
考え、意見交流をする

さまざまな「公正」に対する考え方の存在に気づく
貧困撲滅プログラムの評価

● 目的

さまざまな意見の
存在を知る

現実の社会に対する
関心を高める

3 授業の前におさえるべきこと

- なぜ、「公正」が大切なのか？

- 公正の道具的価値

社会の安定性や効率性など、

他の価値を追求するための手段としての公正

- 公正の内在的価値

人びとに対する平等な尊重と配慮自体に

価値を認める。

3 授業の前におさえるべきこと

- なぜ、貧困が存在するのか？
 - 貧困は、貧困者自身の問題？
 - 機会が限られていることが問題？
 - 公共政策への依存による問題？

4 「なぜ、公正が大切なのか？」 「なぜ、貧困が存在するのか」を 考えさせる授業

- **目標**
 - 公正のもつ価値について説明できる
 - 貧困は、個人の問題ではなく、社会全体の問題であることを理解できる。
- **題材**
 - 「チョコレートも知らず、一生カカオ農園で働き続ける兄弟」
(2006年6月3日 フジテレビ)

4 「なぜ、公正が大切なのか？」 「なぜ、貧困が存在するのか」を 考えさせる授業

● 学習課題

- アフリカの子どもたちがおかれている状況を克服するための方法について考えよう。
- アフリカの子どもたちが、このような貧困撲滅プログラムを受ける権利があるかについて話し合おう。

貧困撲滅プログラムの目標と取組

● 貧困撲滅プログラム

新たにつくりだされた需要が、通常取引を通じて満たされる。

失われた購買力の再創出

取引、輸送経路の確保

保健や教育サービスの提供

最低限度の所得と
権限がない。

保健ニーズや利用機会
についての知識がない。

過酷な労働

不十分な食料

不衛生な環境

基礎教育の剥奪

貧困

● 目標

● 取組

● 問題点

● 具体

● 現状

貧困撲滅プログラムの目標と取組

● 貧困撲滅プログラム

新たにつくりだされた需要が、通常取引を通じて満たされる。

失われた購買力の再創出

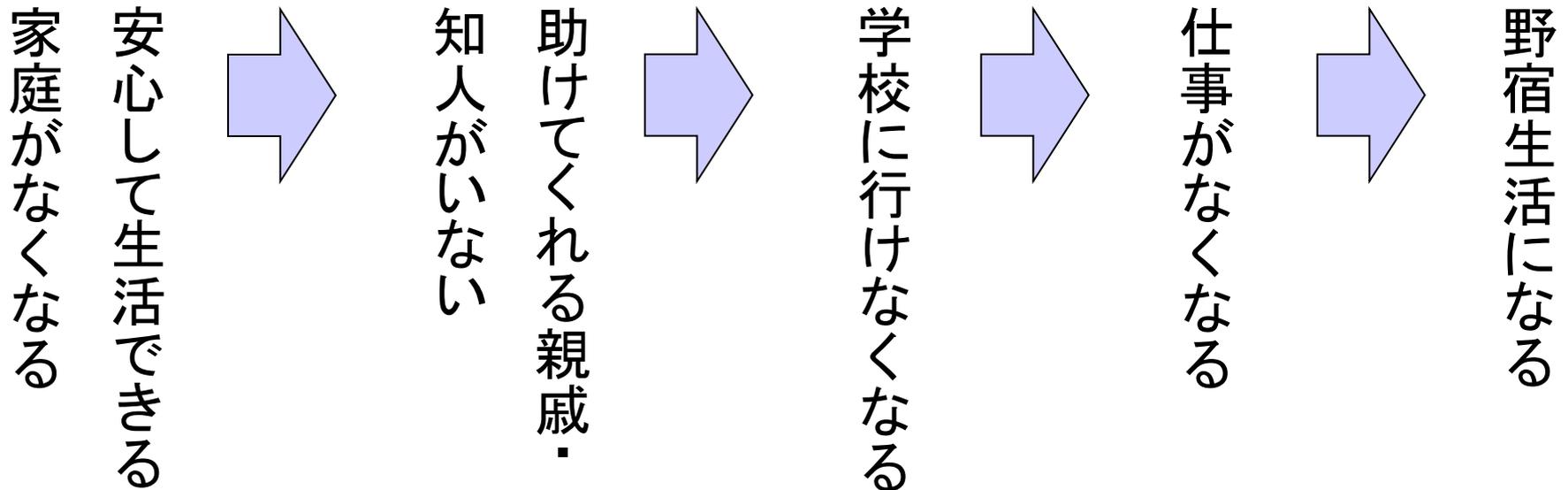
取引、輸送経路の確保

保健や教育サービスの提供

物的資本	道路、港湾	病院、水道、学校
人的資本	国民の栄養状態を改善	国民の健康状態を改善
技術改善	灌漑、肥料等	医療サービス向上 初等教育の推進

5 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業の題材

● 池袋無差別殺傷事件(1999年)の犯人の例



5 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業の題材

● 池袋無差別殺傷事件（1999年）の犯人の例

造田の町の地域住民には、「不遇の少年を救えなかった」という後悔が広がり、減刑嘆願書に署名が集まった。

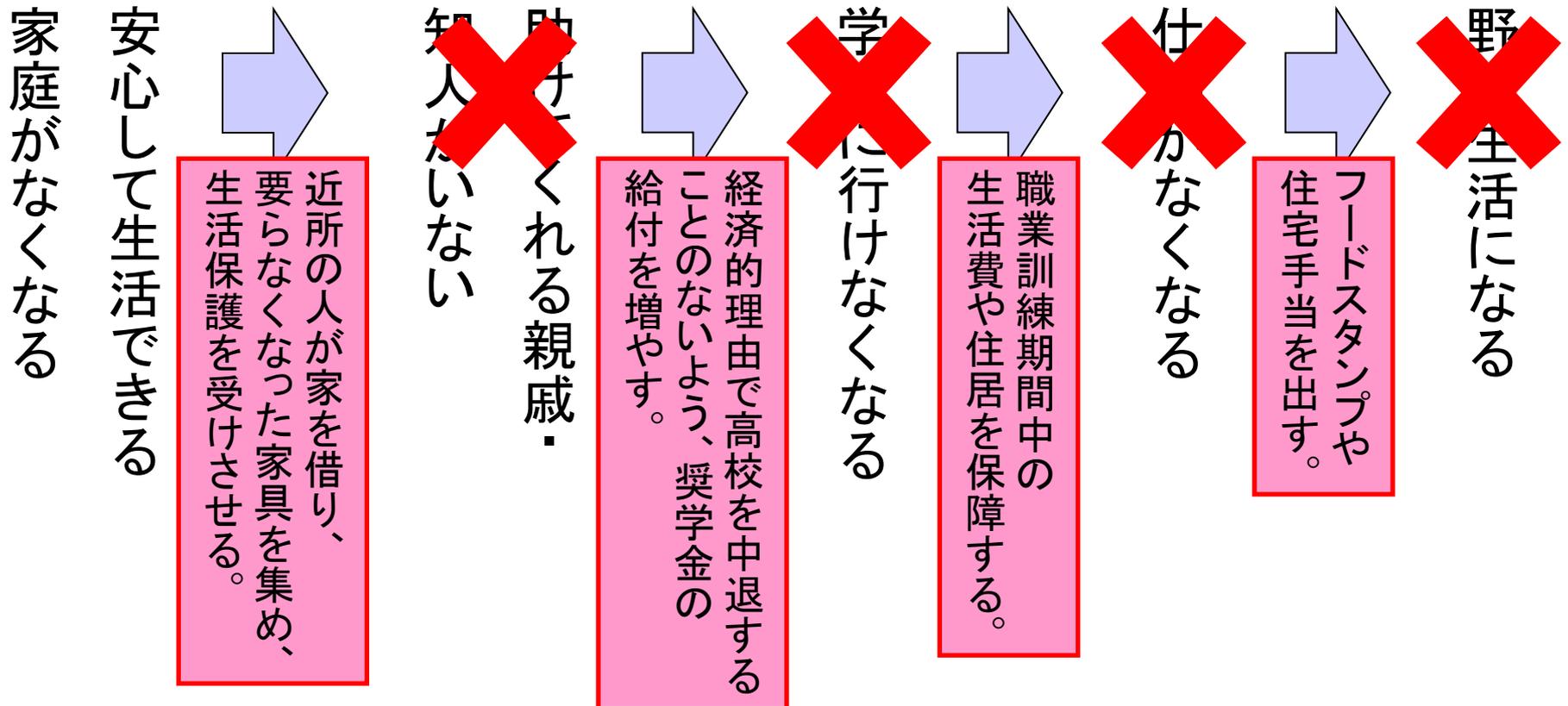
造田は、「大学を出て、事務系の仕事に就きたい」という夢をもっていた。

「せめて高校卒業まで学校に残ることができれば、正規雇用の職もありえた」とハローワークの担当者は言う。

日本では、最低賃金の額が低く、住宅手当（家賃補助制度）もない

5 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業の題材

● 池袋無差別殺傷事件(1999年)の犯人の例



5 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業の題材

● 池袋無差別殺傷事件(1999年)の犯人の例

生活に困っている人を対象に、
フードスタンプや住宅手当を出す。

● 全体の幸福を 大きく(功利主義)

困っている人がいたら、
近所の人家が家を借り、
要らなくなった家具を集め、
生活保護を受けさせる。

経済的理由で高校を中退する
ことのないよう、奨学金の
給付を増やす。

職業訓練に安心してチャレンジ
できるよう、訓練期間中の
生活費や住居を保障する。

6 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業

● 目標

- さまざまな貧困撲滅プログラムの比較・検討を通じて、その背後にあるさまざまな「公正」に対する考えの存在に気づく。
- 貧困撲滅プログラムの評価を通じて、自分なりの評価規準をつくる必要性に気づき、現実の社会に対する関心を高める。

5 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業の題材

● 貧困撲滅プログラムの評価規準

- ・効果の高さ
- ・即効性
- ・持続性
- ・実現可能性
- ・社会的正義

・財源確保の容易さ

● 全体の幸福を 大きく(功利主義)

・人の自由や権利を拡大する

- ・フリーライダーを生みにくい
- ・多くの人々の理解を得やすい
- ・多くの人々が、このプログラムの恩恵を受けやすい。

・自分らしく生きることを可能にする

6 経済における「公正」とは？について、 考えさせる授業

● 題材

- 池袋無差別殺傷事件を例に、日本の貧困問題や公正な配分について考えよう。

● 学習活動

- 日本における貧困を撲滅するための、方法について考え、意見交流しよう。

7 今後の課題

- 「なぜ、貧困が存在するのか」について、生徒に十分な理解を得させていない。

~~貧困に対する科学的理解~~

~~学習の機会付け~~

~~「経済における公正」
について考える
授業構成~~

- 学習内容の適切さ
 - 生徒に提示した貧困撲滅プログラムの適切さ
 - 貧困撲滅プログラムの評価規準の適切さ

参考文献

- 生田武志『貧困を考えよう』岩波ジュニア新書、2009
- 木原隆司『援助ドナーの経済学』日本評論社、2010
- マイケル・サンデル(鬼澤忍訳)『これからの「正義」の話をしてよう』早川書房、2010
- ブラッドリー・R・シラー(松井範惇訳)『貧困と差別の経済学』ピアソン桐原、2010
- 鈴木興太郎・後藤玲子『アマルティア・セン』実教出版、2001